

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-250194

(43) 公開日 平成7年(1995)9月26日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00	1 0 6 C			
G 0 6 F 17/60				
H 0 4 N 1/32	Z			
			G 0 6 F 15/ 21	L
審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 7 頁)				

(21) 出願番号 特願平6-39943

(22) 出願日 平成6年(1994)3月10日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 片平 満希

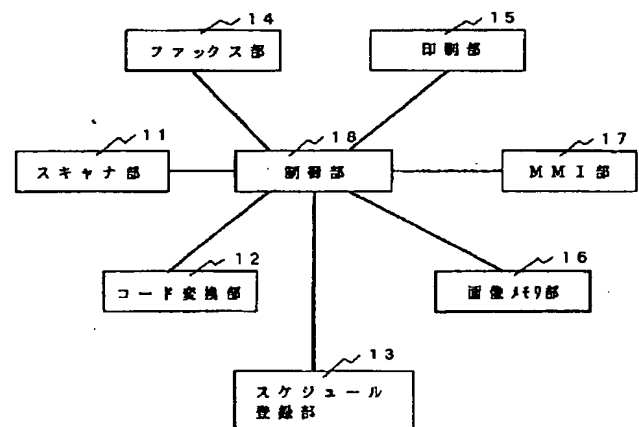
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、ファクシミリ装置自体にスケジュール管理機能を持たせた機能及び操作性の向上したファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【構成】 送信する宛先、送信条件、送信予定日等を登録しておくスケジュール登録部を有するファクシミリ装置であって、前記スケジュール登録部に原稿の文書名、宛先番号、送信条件及び送信予定日を予め登録し、送信予定日に該当する原稿が送信されない場合には、宛先に対して原稿が遅れる旨を通知し、自機に対しては送信予定日である旨をレポート出力することにより、送信スケジュール管理を行うことを特徴とするファクシミリ装置。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 原稿を読み取るスキャナ部と、画像データをコードデータに変換するコード変換部と、送信する宛先、送信条件、送信予定日等を登録しておくスケジュール登録部と、ファクシミリの送受信を行うファックス部と、受信文書或いは管理用レポートを印刷出力する印刷部と、画像データを展開する画像メモリ部と、全体の制御及び計時機能を有する制御部とを有するファクシミリ装置であって、前記スケジュール登録部に原稿の文書名、宛先番号、送信条件及び送信予定日を予め登録し、送信予定日に該当する原稿が送信されない場合には、宛先に対して原稿が遅れる旨を通知し、自機に対しては送信予定日である旨をレポート出力することにより、送信スケジュール管理を行うことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1のファクシミリ装置において、原稿の文書名、宛先番号、送信条件及び送信予定日を記載した専用のデータシートを前記スキャナ部で読み取り、前記コード変換部でコードデータに変換後、前記スケジュール登録部に登録することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項2のファクシミリ装置において、相手先から送られて来た受信情報に基づき、前記コード変換部でコードデータに変換後、前記スケジュール登録部に登録するとともに、前記受信データは前記印刷部より印刷出力することを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はファクシミリ装置に関し、特に、送信すべき原稿の文書名、宛先番号、送信予定日等を予め登録することによりスケジュール管理を行うファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、本社と支社との間で報告書のやり取りを行う場合には、本社から「〇〇報告書を作成し、〇月×日迄にファクスせよ」との依頼されることがある。このような場合、本社からの依頼はファクシミリ或いは電話による指示であり、締切日は支社側の使用者の記憶或いは何らかのスケジュール管理システムにゆだねられていた。しかしながら使用者の記憶に頼ることは、締切日を誤ったり、送信することを忘れてしまう問題点があり、また、報告を受け取る本社側にしても締切日に報告がなかった場合には、報告書が完成していない、送信し忘れといった人為的なものか、通信機能に障害が発生したといった機械的なものか分からないとの問題点があった。また、ファクシミリ装置においては、原稿を予めメモリに蓄積し、所定の時刻になった時送信を行う時刻指定送信機能を有するものはあるが、積極的にスケジュールを管理するものは存在していない。

【0003】

2

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、上記従来の欠点を改善し、ファクシミリ装置自体にスケジュール管理機能を持たせ、機能及び操作性の向上したファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1のファクシミリ装置は、原稿を読み取るスキャナ部と、画像データをコードデータに変換するコード変換部と、送信する宛先、送信条件、送信予定日等を登録しておくスケジュール登録部と、ファクシミリの送受信を行うファックス部と、受信文書或いは管理用レポートを印刷出力する印刷部と、画像データを展開する画像メモリ部と、全体の制御及び計時機能を有する制御部とを有するファクシミリ装置であって、前記スケジュール登録部に原稿の文書名、宛先番号、送信条件及び送信予定日を予め登録し、送信予定日に該当する原稿が送信されない場合には、宛先に対して原稿が遅れる旨を通知し、自機に対しては送信予定日である旨をレポート出力することにより、送信スケジュール管理を行うことを特徴とする。

【0005】請求項2のファクシミリ装置は、請求項1のファクシミリ装置において、原稿の文書名、宛先番号、送信条件及び送信予定日を記載した専用のデータシートを前記スキャナ部で読み取り、前記コード変換部でコードデータに変換後、前記スケジュール登録部に登録することを特徴とする。

【0006】請求項3のファクシミリ装置は、請求項2のファクシミリ装置において、相手先から送られて来た受信情報に基づき、前記コード変換部でコードデータに変換後、前記スケジュール登録部に登録するとともに、前記受信データは前記印刷部より印刷出力することを特徴とする。

【0007】

【作用】本発明の請求項1のファクシミリ装置では、スケジュール登録部に原稿の文書名、宛先番号、送信条件及び送信予定日を予め登録し、送信予定日に該当する原稿が送信されない場合には、宛先に対して原稿が遅れる旨を通知し、自機に対しては送信予定日である旨をレポート出力することにより、送信スケジュール管理を行うので、他のスケジュール管理システムに送信予定を登録する煩雑さを回避でき、また、送信予定日に原稿が送信できなかった場合には、相手先に自動的に通知が行われることから相手先の不安を軽減でき、かつ自機に自動的にレポート出力が出来ることから報告者に対しても報告を促すことになる。

【0008】本発明の請求項2のファクシミリ装置では、原稿の文書名、宛先番号、送信条件及び送信予定日を記載した専用のデータシートを前記スキャナ部で読み取り、前記コード変換部でコードデータに変換後、前記

10

20

30

40

50

スケジュール登録部に登録するので、通常のファクシミリ送信時の操作と大差のない操作性を実現できる。

【0009】本発明の請求項3のファクシミリ装置では、相手先から送られて来た受信情報に基づき、前記コード変換部でコードデータに変換後、前記スケジュール登録部に登録するとともに、前記受信データは前記印刷部より印刷出力するので、相手先から自動的にスケジュール登録ができるとともに、原稿の送信依頼を受付けることができる。

【0010】

【実施例】以下、本発明の実施例を、添付図面に基づいて詳細に説明する。図1は、本発明の実施例に係るファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。送信する原稿を読み取るスキャナ部11と、画像データを（システム内部で取り扱える）コードデータに変換するコード変換部12と、送信する宛先、送信条件、送信予定日等を登録しておくスケジュール登録部13と、ファクシミリの送受信を行うファックス部14と、受信文書或いは管理用レポートを印刷出力する印刷部15と、画像データを展開する画像メモリ部16と、使用者とファクシミリ装置とのマンマシンインターフェースであるMMI部17と、全体の制御及び計時機能を有する制御部18とから構成されている。

【0011】上記構成において、スキャナ部11、ファックス部14、印刷部15、画像メモリ部16、MMI部17は、通常のファクシミリ装置が有するものと略同一の機能を有するものである。コード変換部12は、スキャナ部11或いはファックス部14で受信した画像データを画像メモリ部16に展開し、そのデータから文書名、宛先番号、送信予定日等をシステム内部で取り扱えるコードデータに変換するものである。また、制御部18はCPU、ROM、RAM等から構成され、ROMには、制御プログラムが記憶されている。

【0012】図2は、本発明のスケジュール登録部13の構成を示す概念図である。このスケジュール登録部13は不揮発性メモリで構成され、各々のスケジュール番号に対応して、送信する原稿の文書名、送信する相手先のFAX番号、送信する予定時刻（年／月／日／時）である送信予定日、送信予定日通知レポートを既に出力したか否かを示すマーク（1：出力済、0：未出力）である通達マークが記憶される。また、それらのデータはN件分スケジュール登録部に登録できるよう構成されている。

【0013】図3は、本発明の送信予定日通知レポートの例を示す図であり、図4は本発明の送信遅れレポートの例を示す図である。図5は、本発明のスケジュール登録データシートを示す図であり、図6～9は本発明の実施例に係るファクシミリ装置の動作を示すフローチャートである。以下、図を用いて本実施例の動作を説明する。

【0014】図6は、原稿の未送信時の動作を示すフローチャートである。#21でスケジュール登録部13より1件分のスケジュールデータを読み出し、該データ内の送信予定日データと現在時刻とを比較し、送信予定日を過ぎているか否かを判定する（#22）。送信予定日であれば、スケジュールデータ内に登録されている通達マークを参照し、送信予定日通知レポートを印刷出力するか否かを判定する（#23）。未出力であれば、図3に示されるような送信予定日通知レポートを出力し（#24）、次に、スケジュールデータに登録されている宛先に対して、図4に示されるような送信遅れレポートをファックス部14を介してファクシミリ送信する（#25）。その後、スケジュール登録部13より次の1件分のスケジュールデータを読み出す（#26）。#27でスケジュール登録部13にスケジュールデータが残っているか否かを判定し、終了しているのであれば、システムが持つ計時機能をリセットし、経過時間カウントを開始する（#28）。#29では、経過時間カウントが所定時間（例えば、1時間）経過したか否かを判定し、所定時間経過したのであれば1に戻り、登録データ取得のフローに戻る。

【0015】図7は、原稿の送信時の動作を示すフローチャートである。MMI部17よりスケジュール番号を入力し、スケジュール番号を選択する（#31）。入力されたスケジュール番号に対応したスケジュールデータをスケジュール登録部13より読み出し（#32）、該スケジュールデータ内の宛先FAX番号をファックス部14に設定する（#33）。次に、スキャナ部11で原稿を読み取り、ファックス部14を介して宛先に送信し（#34）、送信したスケジュールデータをスケジュール登録部13から削除する（#35）。

【0016】図8は、スケジュールデータ登録部13にスケジュールデータを登録するフローを示すフローチャートである。#41でMMI部17よりスケジュール登録機能を選択する。次に、図5に示すような専用のデータシートをスキャナ部11で読み取り（#42）、読み取った画像を画像メモリ部16に展開する（#43）。画像メモリ部16に展開したデータから、コード変換部12により文書名、宛先FAX番号、送信予定日をシステム内部で取り扱えるコードデータに変換し（#44）、該コードデータをスケジュール登録部13に登録する（#45）。

【0017】図9は、相手先、即ち原稿依頼先からのスケジュール登録受付のフローを示すフローチャートである。図5に示すようなデータシートをファックス部14で受信すると（#51）、受信したデータを画像メモリ部16に展開する（#52）。画像メモリ部16に展開されたデータ内に識別マークが存在するか否かを判定し（#53）、存在する場合、展開されたデータをコード変換部12によりコードデータに変換する（#54）。

5

該コードデータはスケジュール登録部13に登録し(#55)、画像メモリ部16に展開されたデータは印刷部15により印刷出力する。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ファクシミリ装置自体に送信スケジュール管理機能を持たせたので、他のスケジュール管理システムに送信予定を登録する煩雑さを回避でき、また、送信予定日に原稿が送信できなかった場合には、相手先に自動的に通知が行われことから相手先の不安を軽減でき、かつ自機に自動的にレポート出力がすることから報告者に対して報告を促すことが自動的にできる。

【0019】

【図面の簡単な説明】

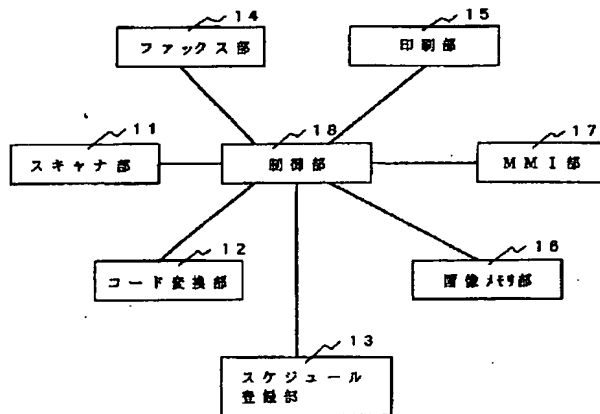
【図1】図1は、本発明の実施例に係るファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

【図2】図2は、本発明のスケジュール登録部の構成を示す概念図である。

【図3】図3は、本発明の送信予定日通知レポートの例を示す図である。

【図4】図4は、本発明の送信遅れレポートの例を示す図である。

【図1】



6

【図5】図5は、本発明のスケジュール登録データシートを示す図である。

【図6】図6は、原稿の未送信時の動作を示すフローチャートである。

【図7】図7は、原稿の送信時の動作を示すフローチャートである。

【図8】図8は、スケジュールデータ登録部にスケジュールデータを登録するフローを示すフローチャートである。

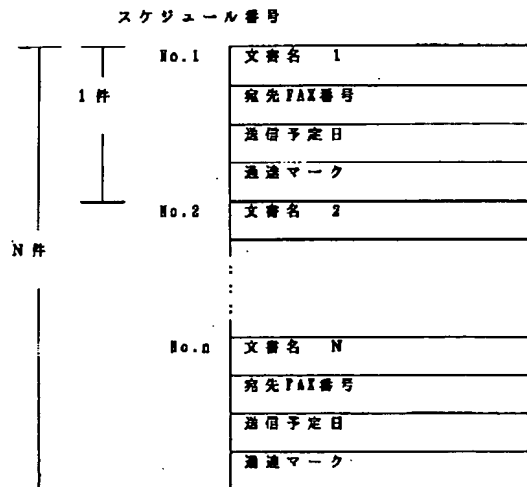
10 【図9】図9は、相手先からのスケジュール登録受付のフローを示すフローチャートである。

【0020】

【符号の説明】

- 11 スキャナ部
- 12 コード変換部
- 13 スケジュール登録部
- 14 ファックス部
- 15 印刷部
- 16 画像メモリ部
- 17 MMI部
- 20 制御部

【図2】



【図3】

文書	○○○○○○○ の送信予定日です。
宛先	△△△△△△△△
送信予定日	●月●日●時
* 宛先に送信が遅れることを *	
* 通知しました。 *	

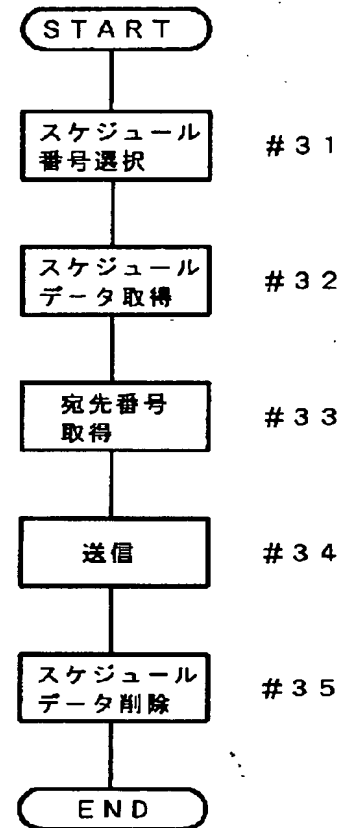
○○○○○：登録されている文書名
 △△△△△：登録されている宛先FAX番号
 ●●●●●：登録されている送信予定日

【図4】

文書	○○○○○○○ の原稿が準備されて いません。
* 送信が遅れます。 *	

○○○○○：登録されている文書名

【図7】



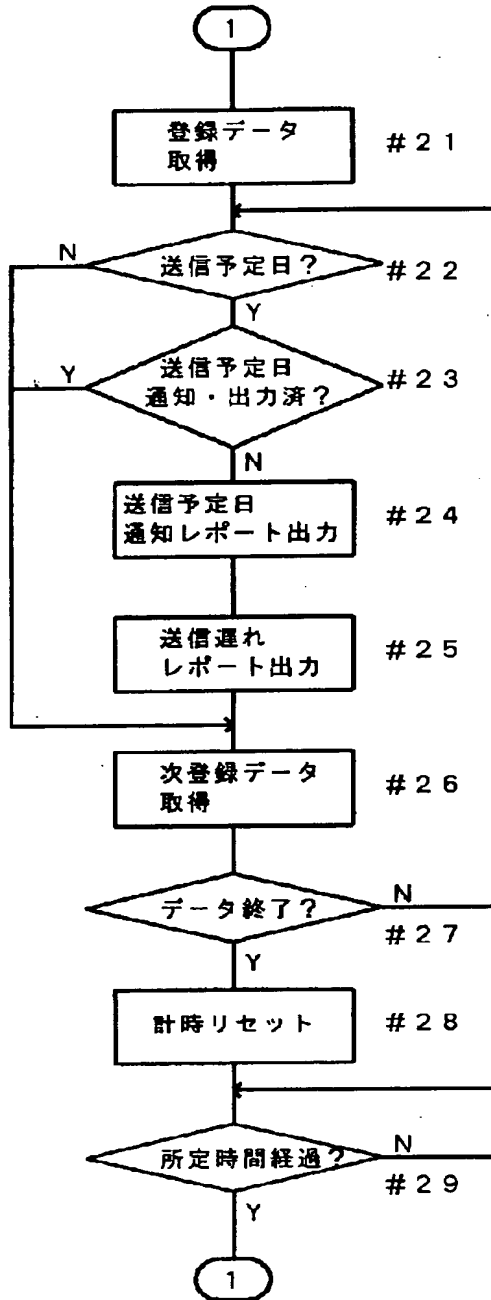
【図5】

識別マーク

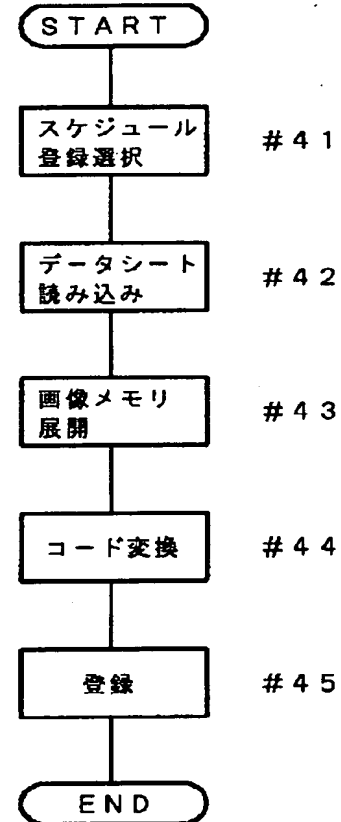
* スケジュール登録	
文書名	○○○○○○○
宛先	△△△△△△△△
送信予定日	●月●日●時
備考	

○○○○○：登録する文書名使用者手書き
 △△△△△：登録する宛先FAX番号使用者手書き
 ●●●●●：登録する送信予定日使用者手書き

【図6】



【図8】



【図9】

